



平成20年2月6日

各位

大阪府東大阪市岩田町2丁目3番1号
タツタ電線株式会社
(代表者名) 取締役社長 藤江 修也
(コード番号) 5809
(上場取引所) 東証・大証第1部
(問合せ先)
取締役 総務部 経理・財務担当部長 松本 一郎
TEL (06)6721-3011(代表)

当社子会社の新工場建設のお知らせ

当社の連結子会社である、タツタ システム・エレクトロニクス株式会社(本社:大阪府東大阪市、代表取締役社長:嶋田 敦雄)は、導電機能性フィルムの需要増と同製品の高機能化ニーズの高まりに対応するため、当社福知山工場(平成20年4月1日付で「京都工場」に名称変更予定)内に新工場(名称:機能性フィルム京都工場)を建設することを決定いたしました。新工場は本年3月の着工、同12月からの稼働開始を予定しております。

電子機器の小型化・高機能化に伴い、携帯端末やゲーム機、薄型テレビなどに使用されるFPC(フレキシブルプリント基板)、FFC(フレキシブルフラットケーブル)の電磁波シールド用途を中心とした導電機能性フィルムの需要は増大しており、これに対応する増産体制を構築するとともに、高効率生産設備を配した新工場と現大阪工場(タツタ電線(株)大阪工場内)の2拠点での機動的生産体制により、一層の製品供給の安定化を図っていくことといたします。

詳細は下記のとおりであります。

記

1. 投資の背景

- 導電機能性フィルム製品は電磁波シールドフィルムや導電性ボンディングフィルムから成るが、特に電磁波シールドフィルムは薄型である他、摺動性・屈曲性・耐熱性に優れるとともに広帯域での秀でたシールド特性等から、FPC、FFCの電磁波ノイズ対策としてのシールド用途に多用され、好評を得ている。
- 同フィルムの需要は携帯電話機や薄型テレビの普及および高機能化の進展を背景に近年需要が急速に拡大しており、生産能力の増強が必要になってきた。
- また、新潟県中越沖地震をきっかけとして、海外の大手顧客から生産の2拠点化による安定供給体制構築への要求が高まってきている。
- 一方コスト面では、コストダウン要求が年々強まりつつある中、自動化、省人化による高品質、高効率生産体制を早急に確立する必要がある。
- 以上の状況のもと、機能性フィルム設備の一層の増強、さらには銅ペースト事業、ボンディングワイヤ事業等、フィルム事業以外の電子材料事業の拡大も視野に入れ、今後、京都工場を電子材料事業の中核生産拠点として位置づけていく。

2. 投資の概要及び目的

- タツタ システム・エレクトロニクス(株)では平成15年の大阪工場建設とともに機能性フィルム製品の本格供給を開始。以降その順調な伸びとともに平成17年及び平成18年に順次生産能力の拡充を図り、現在16万㎡/月の生産能力を有している。
- 今回の投資では現大阪工場と同等の16万㎡/月の能力増強を図り、合計生産能力を32万㎡/月に倍増させる。また、ラインスピードのアップ及び検査の自動化を図るなど、コスト、品質両面で高効率の生産工場とする。

- ・京都、大阪の2拠点体制のもと、京都工場は主として汎用品、大阪工場は汎用品に加え高付加価値製品、小口生産品の製造をそれぞれ基本としつつ、機動的な生産体制を敷く。これにより現在実施しているアジア地区でのリードタイム5日体制を徹底させ、一層の顧客の利便性向上に資するとともに、開発人員の増強も並行して実施する。
- ・今回の生産能力増強計画により、主たる用途である携帯電話機用に関しては、5年先までの需要増を見込んだ安定供給が可能になるものと見込んでいる。

3. 設備投資の概要

(1) 増強設備の内容及び生産能力

設備の内容

- ・工場棟建設（延床面積約4千㎡、2階建て、製造エリアクリーン仕様）
- ・クリーン対応高効率コーティング機設置（1基）
- ・特殊密閉型導電ペースト製造設備（ミル1台、ミキサー4台）
- ・スリッター設備（1基）、出荷及び検査設備

生産能力（月産） 160,000㎡

(2) 投資額

約20億円

(3) 設備の完成時期

平成20年11月末

4. その他

設備投資の資金の手当については、自己資金および借入金で行う予定。

(参考) タツタ システム・エレクトロニクス株式会社の概要

(1) 商号	タツタ システム・エレクトロニクス株式会社
(2) 事業内容	電子材料、導電材料、システム機器製品の製造・加工および関連製品の販売
(3) 設立年月日	平成14年3月6日
(4) 本店所在地	大阪府東大阪市岩田町2丁目3番1号
(5) 代表者	代表取締役社長 嶋田 敦雄
(6) 資本金	50百万円
(7) 売上高	3,154百万円（平成19年3月期）
(8) 従業員数	50人
(9) 大株主および持株比率	タツタ電線株 100%

《本件に関する詳細問い合わせ先》

タツタ電線株式会社

総務部 山本 英輔

電話(06)6721-3331

タツタ システム・エレクトロニクス株式会社

経営企画室 柴田 徹也

電話(06) 6721-3321

以上